2020 VOL. 78

Report HEIB

レポートヒーブ

Japan Association for HEIB and Consumer Affairs Professionals in Business

国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業

特集 リレーシンポジウム 男女共同参画社会の共創

～生活者・企業・行政で創る九州／関西の未来～

TOPICS

- ■リレーシンポジウム報告会／内閣府男女共同参画推進連携会議
- ■総会報告／支部大会報告
- ■G20消費者政策国際会合／消費者庁消費者教育推進会議
- ■令和元年度消費者支援功労者表彰／講演活動
- ■分科会活動報告
- ■東京・関西・九州活動報告

日本ヒーブ協議会

特集　国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業

リレーシンポジウム　男女共同参画社会の共創
～生活者・企業・行政で創る九州／関西の未来～

第一部

基調講演：多様な選択を可能にする学び
～令和元年版男女共同参画白書より～
講　　師：黒木　理恵 氏
内閣府 男女共同参画局 調査課長

第二部

パネルディスカッション
モデレーター：加留部　貴行 氏
九州大学大学院統合新領域学府 客員准教授
NPO法人日本ファシリテーション協会 フェロー

〈大阪会場：パネリスト〉

梶原　千左 氏
株式会社ダスキン
メリーメイド事業部 事業部長

中島　かおり 氏
兵庫県議会 議員

田中　喜陽 氏
NPO法人スマセレ 会長理事

基調講演・パネリスト

黒木　理恵 氏

モデレーター

加留部　貴行 氏

〈福岡会場：パネリスト〉

坂口　克彦 氏
ハウステンボス株式会社
代表取締役社長

宇出　研 氏
福岡市市民局 男女共同参画部長
（福岡市男女共同参画推進センター・アミカス館長）

リレーシンポジウム「男女共同参画社会の共創～生活者・企業・行政で創る九州／関西 の未来～」を2019年12月4日に福岡、2020年1月17日に大阪の2会場で開催しました。
福岡会場は89名、大阪会場は139名 と多くの方にご参加いただきました。

第1部　基調講演

多様な選択を可能にする学び～令和元年版男女共同参画白書より～

内閣府 男女共同参画局 調査課長　**黒木　理恵** 氏

男女共同参画とは何か、男女共同参画の必要性についてお話いただいた後、「令和元年版男女共同参画白書」を用い、具体的な数字や細かい分析について分かりやすく、社会背景を絡めてご説明いただきました。特集の「多様な選択を可能にする学びの充実」では、社会人の学びなおしの必要性、リカレント教育の充実が女性の活躍を進化させる原動力になると訴えられました。

第2部　パネルディスカッション

【大阪会場】

企業、行政、学生という様々な立場のパネリストによるディスカッションを行いました。前半は、パネリストの方々のそれぞれの取組みについてご説明いただき、後半はモデレーターの加留部氏からの質問に回答いただくという流れですすめられました。ロールモデルとなる身近な大人が少なく未来を描きにくい、日本の男女共同参画は年々進んできているが、諸外国の進み方に比べ遅れをとっており、もっと危機感を持って進めていかなければならない等、会場を巻き込みつつ、参加者全員で活発な意見交換を行いました。

【福岡会場】

九州の企業と行政・自治体それぞれの立場で現在取り組んでいる内容を紹介いただいた後地域社会の現状をふまえ、これからの取組み課題について会場の参加者を巻き込みながら協議しました。女性が活躍するためのロールモデルが少なくイメージが湧きにくいことから、所属団体を超えた横の繋がりや異業種間交流が重要となること、現状は各人の意識は変わりつつあるが実態が伴っていない過渡期であること、また男女間だけでなく世代間にも意識のギャップがあり現役世代を含め意識付けが必要であること、今後その事実を認識して共有し属性にとらわれず混ざることの大切さなど、今後の取組みのヒントとなる事柄について活発な意見が交わされました。

2019年度 総会・公開講演会

花王の消費者志向経営と日本ヒーブ協議会への期待

4月19日、東京にて開催しました。第1部総会では、2018年度事業報告及び決算報告ののち、2019年度理事・監事の選任、事業計画及び予算の承認を行いました。

第2部の花王株式会社 常勤監査役 青木秀子氏を講師に迎えた公開講演会に、109名が参加しました。企業理念である花王ウェイを拠りどころにした〝よきモノづくり〟や、お客様の声を活かす取組みを常に心がけ、消費者・顧客を最もよく知る企業となることをめざしている同社の消費者志向経営についてお話ししていただきました。当協議会に対しても、社会環境が変化するなか、深刻な社会課題の解決と希望ある未来のために多様な生活者視点を深め、ヒーブのネットワークを活かし各事業者間のパイプを繋いで大きな力となるようにとのエールをいただきました。

九州支部大会

SDGs入門 ～カードゲームで気づく自分と世界と未来のつながり～

6月11日、福岡にて開催しました。ビジネスの新潮流として世界中で注目されている「SDGs（持続可能な開発目標）」について、国連でも行われたカードゲーム「2030 SDGs」を通じ、SDGsの本質理解と未来の可能性を感じていただきました。参加者からは「SDGsの考え方や実践の仕方が分かってとてもためになった」「衣食住を一度見直すきっかけとなった」等、世界の課題を自分ゴトとして捉える契機となりました。

関西支部大会

私の経営理念 ～人を活かす経営～

5月21日、大阪にて開催しました。株式会社ふくや 代表取締役会長 川原正孝氏から博多名物明太子を生んだ老舗メーカーである同社が、長期にわたって掲げてきた経営理念「強い会社、いい会社」とは、「人を活かす経営」とは何かをご講演いただきました。同社は代々トップの強い信念と行動力によって、企業成長だけでなく、社員の感性を高める機会の創出や人材育成に熱心に取り組んでこられました。社員のことを一番に考え大切にする姿勢こそが、経営理念の実現に繋がっていると感銘を受けました。

内閣府 男女共同参画推進事業 リレーシンポジウム報告会

1月29日、リレーシンポジウムの報告会を東京で行いました。福岡会場、大阪会場と同じく、内閣府 黒木理恵氏に講演いただいたのちに、九州支部長 難波裕扶子（南日本ハム（株））、関西支部長 松島知子（住友生命保険（相））から、九州、関西それぞれ開催結果を報告しました。男女共同参画について行政、政治、経営者、若者等それぞれの立場からいただいた提言は、男性・女性ともにワークライフバランスを実現するヒントを見出すことができました。

東京報告会でもモデレーターの加留部貴行氏より、「混ぜないと危険（聴けん）」をキーワードに、これからますます多様性が高まるなか、老若男女、外国人など価値観や考え方の違う人と共に創っていくこと、そのためには対話が重要だとのお話をいただきました。

最後に、「対話を通じてこれからの専門性を素直に習い、これからの多様性に早めに慣れる」との言葉に、男女共同参画社会を一歩進めた未来の姿を感じました。

リレーシンポジウム参加者の声

九州…企業のトップや実際に行政の取組みを行っているパネリストの話を聞けて少しずつではあるが変化しつつあることを感じた。

関西…学びの推進が非常に良いと感じた。〝男女が平等〟と言いながらだと、男が、女が、という話になり、永遠に解決しないと思う。〝個人が自分のやりたいことに挑戦できる〟という環境作りが、男女共同参画を実現する最も重要なものだと感じた。

内閣府 男女共同参画推進連携会議の活動について

代表理事の梶原織梨江（日本生命保険（相））が、男女共同参画推進連携会議議員として、総理大臣官邸で開催された「男女共同参画に関する懇談会（6月25日）」や「第38回全体会議（10月28日）」などに出席しました。全国の有識者や関連団体のメンバーと協働し、男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいます。

蟹瀬 令子さん
令和元年度 消費者支援功労者表彰「内閣府特命担当大臣表彰」を受賞

～消費者支援功労者表彰について～

消費者利益の擁護および増進を図ることを目的に、消費者支援活動に極めて顕著な功績のあった個人または団体・グループに対して、その功績をたたえ顕彰する制度です。

蟹瀬さんは、消費者の意見を反映させ、よりよき消費社会の実現に向けた提言が評価されました。

企業経営や生活者の観点から幅広く提言するだけでなく、内閣府公共料金等専門調査会や第4次及び第5次消費者委員会にも参画されました。

社会貢献活動においても、消費者活動と社会貢献活動が自然とつながる流れを作るなど積極的に活動されています。

蟹瀬（かにせ）令子（れいこ）さん　プロフィール

株式会社博報堂入社後、コピーライターとして活躍、独立後は、株式会社イオンフォレスト（ザ・ボディショップ・ジャパン）の代表取締役社長を経て、現在はレナ・ジャポン・インスティチュート株式会社 代表取締役。日本ヒーブ協議会には1989年入会、第14期会長、2005年度より特別会員。

講演活動

6月13日、理事の木谷あゆみ（イカリ消毒（株））が関西学院大学におきまして、経済学部 田中敦先生の経済事情E 市場経済と消費者問題の講義を行いました。テーマは、企業と生活者をつなぐ～消費者市民社会と消費者志向経営の実現に向けて～。約250名の受講者からは、社会や将来のことを考え、知識を共有し積極的に社会の改善に繋げていけるような行動がしたいという言葉を頂きました。

また、12月16日、神戸学院大学でも同様に講義を行い、約70名が受講しました。

G20消費者政策国際会合

9月5日・6日の両日、徳島市において、消費者庁と徳島県の共催により、G20大阪サミットのサイドイベントとして、「G20消費者政策国際会合」が開催されました。本会合はドイツ、アルゼンチンに続き、日本が3か国目の開催地になります。

当協議会は、消費者庁からご案内いただき、国内の他の事業者団体・消費者団体とともに、英語で活動内容を紹介する展示パネルの出展を行い、オブザーバーとして参加しました。

会合には、G20加盟国を含む38の国と国際機関から消費者問題を担当する政府関係者や実務者ら約100人が参加し、「デジタル時代における消費者政策の新たな課題」について、急速な技術革新への政策適応や国際連携の強化、SDGs（持続可能な開発目標）の推進、脆弱な消費者の保護等について、各国・機関の取組み紹介だけでなく、会場からの質疑応答等、双方向の活発な議論が交わされました。

デジタル時代はそのスピード等の特性から、誰もが脆弱な消費者になり得る可能性があります。私たちは生活者視点と経営視点をあわせ持つ「ヒーブ視点」を活用し、その特性を理解したうえで、「生活者視点」を共通の視点として、生活者・企業・行政と協働できるように努めていきます。

消費者庁 第4期消費者教育推進会議への参画について

当協議会は2019年10月より、理事の藤脇智恵子（第一生命保険（株））が第4期消費者教育推進会議の委員として参画しています。10月28日には第4期の初回となる「第26回消費者教育推進会議」に出席し、協議会の活動内容や若年者への消費者教育への取組みについて説明しました。11月11日には「第27回消費者教育推進会議」に出席し、地域における消費者教育の推進や消費者教育ポータルサイトの全面見直しについて活発に議論しました。

分科会活動報告

月例会企画・運営分科会

「月例研究会」として講演会7回、企業見学会1回を実施しました。

1月には、関西・九州で行われた内閣府共催のリレーションポジウムのまとめとして、公開講演会を実施し、メンバー一丸となり運営を行いました。新たな活動として、ヒーブ活動の周知、会員が時間や場所を選ばず月例研究会に参加できる方法の模索があります。月例研究会の「動画撮影」は、効果的な撮影方法等、試行錯誤しながら取り組んでいます。

これからも、より魅力的な月例研究会を実施できるよう、ヒーブの役割を考えつつ、会員のスキルアップにもつながるようなテーマを検討していきたいと思います。「こんな講演が聴きたい」等のご要望がありましたら、ぜひメンバーまでお寄せください！

【メンバー】
・アルソア本社(株)　望月　由美子
・イオンリテール(株)　藤原　梓
・サッポロビール(株)　唐津　恵子
・サントリーコミュニケーションズ(株)　山崎　優子
・大樹生命保険(株)　安齋　詠子
・トヨタ自動車(株)　丸田　美恵
・日本ハム食品(株)　浅野　結花
・富国生命保険(相)　雨宮　絵歩
・三菱自動車工業(株)　小川　由衣
・(株)明治　鈴木　美佐子
・森乳コミュニケーション(株)　簑島　ゆう子

【担当理事】
・アフラック生命保険(株)　篠　かおり
・明治安田生命保険(相)　鈴木　聖子

商品・サービス研究分科会

ヒーブ視点と異業種交流の特長を活かし、生活者に知ってほしい生活情報を「情報カード」にまとめて発信しています。昨年度に引き続き、「情報が届く発信方法」をテーマに、スマートフォンでの視認性を向上させた情報カードの作成やFacebookの活用に加え、今年度はさらに効果的な発信方法の研究・実践を行いました。具体的には、SNSにおける発信方法のコツ、視る人を惹きつける写真や動画の撮影方法をプロから直接学び、実際にFacebookで動画配信にチャレンジしました。知識の習得やスキルの向上のみならず、ワクワクしながら学び実践したことを、今後のヒーブ活動や企業での業務に活かしていきたいと思います。

【リーダー】
・(株)Mizkan Holdings　有冨　菜穂子

【サブリーダー】
・サンスター(株)　石川　美希

【メンバー】
・味の素(株)　志保沢　久子
・キリンホールディングス(株)　伊藤　千織
・昭和産業(株)　藤井　吉美
・トヨタ自動車(株)　道添　誉子
・(株)日清製粉グループ本社　高見澤　奈織美
・日本ハム(株)　井関　美峰代
・(株)白洋舎　谷村　一美
・山崎製パン(株)　黒川　栄子
・ライオン(株)　後藤　静代
・ライオン(株)　杉本　美穂

【担当理事】
・花王(株)　中村　さやか
・日本生命保険(相)　梶原　織梨江

調査・生活者関連情報分科会

今年度は40周年記念誌でヒーブが描いた将来の「社会変化にともなう業態構造変化」を深堀りするために、分科会メンバーが所属するそれぞれの業界について学びました。

それぞれの業界で、過去から現在、将来(5年後、10年後)における社会からの要望・課題の変化やその対応について発表し、メンバー全員で議論をしながら新たな気づきを共有してきました。

これからもメンバー自らの能力・知識向上を図り、企業内への『ヒーブ視点』の発信につなげていくために、ヒーブの強みであるダイバーシティ(異業種交流による多様性)を活かし、生活者視点で先を見て洞察し、提案する活動を続けていきたいと考えています。

【リーダー】
・積水化学工業(株)　東　仁美

【サブリーダー】
・(株)Mizkan Partners　粕谷　真里子

【メンバー】
・アフラック生命保険(株)　髙野　逸子
・(株)アンデルセン・パン生活文化研究所　影田　明日香
・(一財)サンスター財団　脇田　真知
・資生堂ジャパン(株)　梅木　洋子
・(株)第一生命経済研究所　宮木　由貴子
・日本製粉(株)　松谷　陽子
・ハウス食品(株)　松浦　和美
・(株)販売促進研究所　三田　まり子
・(株)ヤクルト本社　市川　弥寿子
・雪印メグミルク(株)　福山　高恵

【担当理事】
・損害保険ジャパン(株)　吉村　美衣子
・日新製糖(株)　中村　尚美

お客様対応を考える分科会

お客様対応の品質向上、お客様の声を"キク"スキルの向上に取り組んで参りました。

第一生命保険(株)のコールセンター見学では応対品質評価への取組みの内容を教えていただき、年々変わりゆく消費者動向・ニーズに合わせて、常に消費者対応も変化が必要であることを学びました。また昨年に引き続き、当協議会が実施機関となっている「電話応対技能検定(もしもし検定)」の4級対策講座・試験の運営を担当し、メンバーも受験するなど、消費者対応に従事している方々へのスキルアップを図りました。さらに2年ぶりに「お客様対応講座」を実施し、応用的な技術を学ぶ機会を設けました。今後も会員のスキルアップにつながるよう進めて参ります。

【リーダー】
・西川(株)　吉川　育恵

【サブリーダー】
・日本製粉(株)　青山　あいり

【メンバー】
・アサヒビール(株)　林　真由美
・アフラック生命保険(株)　池　裕子
・(株)かんぽ生命保険　根本　香菜子
・日本生命保険(相)　江口　晃代
・プリマハム(株)　佐藤　貴子
・森永製菓(株)　田村　和世

【担当理事】
・第一生命保険(株)　藤脇　智恵子
・富国生命保険(相)　丹野　富美恵

◆月例研究会(9月)
体験型学習を通して、SDGsを学ぼう
ブルーオーシャン
キャリア・コンサルティング
村松　賢一　氏
2015年の国連サミットで人類共通課題に向けた行動計画として採択された「SDGs」。なぜこの取組みが必要で、取り組むことでどんな可能性が拡がるのか」をカードゲームを通して学びました。ゲームが進むにつれ、参加者の意識や行動の変化が視覚的に分かり、今後の行動や価値観について見直すきっかけとなりました。

◆月例研究会(10月)
施設見学会
農林水産消費安全技術センター
神戸センター(FAMIC)
食品表示監視業務について
～科学の目で食品表示のウソをあばく～
農林水産消費安全技術センター　神戸センター
表示指導課　課長　　松岡　高広　氏

◆ACAP・ヒーブ合同月例研究会(11月)
①お客様本位の業務運営にむけて
～コールセンターの果たす役割～
日本生命保険相互会社
お客様サービス部　コールセンター長
大寺　純子　氏
お客様サービス部　消費者室長
花田　昌士　氏
②自分らしく社会とつながる
～大阪サクヤヒメ賞に寄せて～
一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団
理事・本部長　　仁科　あゆ美　氏

◆国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業(1月)
(詳細については2～3ページ)

◆月例研究会(2月)
2019年度の振り返りと2020年度の計画・予算策定《中止》

◆月例研究会(3月)
スキルアップセミナー《中止》

KYUSYU

◆九州支部大会・公開講演会(6月)
SDGs入門　～カードゲームで気づく自分と世界と未来のつながり～
南日本ハム株式会社　食育広報推進課長
難波　裕扶子
(詳細については5ページ)

◆ヒーブセミナー(7月)
事業系ごみについて考える
～食品ロスと古紙回収～
福岡市環境局　事業系ごみ減量推進課長
城戸　裕子　氏
事業系ごみ等に関する現状や課題についての講演の後、福岡市職員の方々を交えたグループワークを行いました。事業者として、また一人の消費者として学びの深化が図れ、持続可能な社会の実現のため、今日からできる一歩を共有しました。

◆月例研究会(9月)
会員お仕事紹介

◆電話応対技能検定(もしもし検定)4級(10月)
ビジネスコミュニケーションスキルアップセミナー(試験対策講座)と電話応対技能検定
日本ハム株式会社　お客様サービス部
山下　みどり　氏

◆ヒーブセミナー(11月)
これからの生活者の未来を考える
「人生100年時代の“幸せ戦略”」セミナー
～人生100年時代を支える「3つの人生資産」「ライフデザイン3.0」とは？～
株式会社第一生命経済研究所　調査研究本部・ライフデザイン研究部　主席研究員
宮木　由貴子

◆国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業(12月)
(詳細については2～3ページ)

◆月例研究会(3月)
ふれあいミーティング《中止》

※新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、2月15日以降に予定していた月例研究会の開催を中止しました。

TOKYO

◆総会・公開講演会(4月)
花王の消費者志向経営と
日本ヒーブ協議会への期待
花王株式会社　常勤監査役
青木　秀子　氏
(詳細については5ページ)

◆月例研究会(5月)
2019年度キックオフミーティングと
会員交流茶話会

◆月例研究会(6月)
①「第4期消費者基本計画」進捗状況について
消費者庁　消費者政策課長
内藤　茂雄　氏
②「令和元年版 消費者白書」について
消費者庁　消費者調査課長
太田　哲生　氏

◆月例研究会(7月)
①令和元年度消費者支援功労者表彰受賞記念講演会
日本ヒーブ協議会特別会員(第14期会長)
レナ・ジャポン・インスティチュート株式会社
代表取締役　　蟹瀬　令子　氏
②新たな未来を創る
～メルカリが目指す世界～
株式会社メルカリ　社長室　政策企画
伊藤　亮太　氏

◆公開講演会(8月)
ワタシから始めるオープンイノベーション
～日本の未来の創り方～
内閣府　知的財産戦略推進事務局
バリューデザイナー
宇津木　達郎　氏
グラフィック　コミュニケーター
本園　大介　氏

◆月例研究会(9月)
企業見学会　グリコピアCHIBA
わくわくできる工場見学
～グリコピアCHIBAにおける
「魅せる工場見学」の取組み～
グリコピア　CHIBA館長　吉村　貴宏　氏
巨大なゴールインポーズに迎えられ、セブンティーンアイスとパピコの製造工程を見学。巨大冷蔵庫に驚き、アイスクリーム作り体験を通して、アイスクリームの製造工程を学びました。
創業者当時から健康・おいしさを追求した江崎利一氏の信念をお伺いし、現在発売されているお菓子に込められた思いを感じました。はじめてのGlico体験を通じて、現代では当たり前のブランド戦略や巨大広告の先見性も学び、貴重な体験となりました。

◆月例研究会(10月)
集中分科会

◆月例研究会(11月)
「人生100年時代の“幸せ戦略”」セミナー
～人生100年時代を支える「3つの人生資産」「ライフデザイン3.0」とは？～
株式会社第一生命経済研究所　調査研究本部・ライフデザイン研究部　主席研究員
宮木　由貴子

◆電話応対技能検定(もしもし検定)4級(11月)
ビジネスコミュニケーションスキルアップセミナー(試験対策講座)と電話応対技能検定
日本ハム株式会社　お客様サービス部
山下　みどり　氏

◆月例研究会(12月)
永く選ばれ続けるブランドになるために、“お客様と繋がる”ファンづくりの進め方
カゴメ株式会社
マーケティング本部広告部宣伝グループ　課長
水野　慎也　氏

◆公開講演会(1月)
内閣府　男女共同参画推進事業〈福岡〉
〈大阪〉リレーシンポジウム報告会
基調講演：
内閣府　男女共同参画局　調査課長
黒木　理恵　氏
モデレーター：
九州大学大学院統合新領域学府　客員准教授
NPO法人日本ファシリテーション協会　フェロー
加留部　貴行　氏
(詳細については4ページ)

◆月例研究会(2月)
顧客の心をつかむカスタマーメール
株式会社コラージュ　代表取締役
加藤　靖子　氏

◆月例研究会(3月)
分科会活動報告会・会員交流会《中止》

KANSAI

◆関西支部大会・公開講演会(5月)
私の経営理念　～人を活かす経営～
株式会社ふくや　代表取締役会長
川原　正孝　氏
(詳細については5ページ)

◆月例研究会(7月)
①「令和元年版　消費者白書」について
消費者庁　参事官(調査・物価等担当)付
参事官補佐(調査担当)
仙北　由美　氏
②「消費者志向経営」について
消費者庁　参事官(調査・物価等担当)付
事業者連携担当主査
森本　幸江　氏
③日本生命の消費者志向経営・コールセンター見学
日本生命保険相互会社　お客様サービス部
消費者室課長
江口　晃代

◆月例研究会(8月)
企業見学会　ヤマト運輸株式会社
関西ゲートウェイ
「バリュー・ネットワーキング構想」
「全員経営」におけるお客様サービスの在り方
ヤマト運輸株式会社　関西支社
ソリューション営業マネージャー
西林　貴之　氏

2020年度 代表理事挨拶

三位一体のデザイン型共創社会にむけたアクション
―Innovationの芽を育てる―

損害保険ジャパン株式会社
吉村　美衣子

日本ヒーブ協議会の活動につきまして、日ごろよりご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

私たちヒーブは、40周年で提言した「デザイン型共創社会」に向かい始動しています。昨年度は、内閣府、男女共同参画推進連携会議とリレーションポジウムを開催する等、行政や地域と連携したアクションを通じ、多様性から生まれる共創の可能性を実感しました。これからはその可能性を育てていくフェーズであり、今年度の活動テーマを「三位一体のデザイン型共創社会にむけたアクション―Innovationの芽を育てる―」としました。

生活者・企業・行政の三位一体で創る社会において、ヒーブの強みである生活者視点と経営視点を発揮するだけでなく、ヒーブ内外の多様な人と出会い、まざり合うことによって、ヒーブならではの価値創造を目指し、活動してまいります。

引き続き、皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年度　理事・監事紹介

【代表理事】
吉村　美衣子　損害保険ジャパン(株)

【副代表理事】
鈴木　聖子　明治安田生命保険(相)
中村　尚美　日新製糖(株)

【理事】
影田　明日香　(株)アンデルセン・パン生活文化研究所
篠　かおり　アフラック生命保険(株)
丹野　富美恵　富国生命保険(相)
藤脇　智恵子　第一生命保険(株)
脇田　真知　(一財)サンスター財団

関西支部
【支部長】
木谷　あゆみ　イカリ消毒(株)

九州支部
【支部長】
難波　裕扶子　南日本ハム(株)

【監事】
有冨　菜穂子　(株)Mizkan Holdings
林　真由美　アサヒビール(株)

日本ヒーブ協議会は、以下の賛助会員企業からご支援をいただいております。

アサヒビール株式会社
アフラック生命保険株式会社
株式会社アンデルセン・パン生活文化研究所
花王株式会社
カゴメ株式会社
企業組合東京セールスレップ
キリンホールディングス株式会社
小林製薬株式会社
サンスター株式会社
サントリーコミュニケーションズ株式会社
資生堂ジャパン株式会社
昭和産業株式会社
公益財団法人生命保険文化センター
株式会社第一生命経済研究所
第一生命保険株式会社
株式会社トライローグ
株式会社日清製粉グループ本社
日本製粉株式会社
日本ハム株式会社
日本生命保険相互会社
株式会社ふくや
富国生命保険相互会社
株式会社MizkanPartners
明治安田生命保険相互会社
森永乳業株式会社
ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社
ライオン株式会社

2020年4月現在(50音順)

入会のご案内

1. 入会の資格
(1)正 会 員　企業の消費者関連部門などに働く女性で、本法人の目的に賛同し、入会した者
(2)個人会員　本法人の目的に賛同する女性で、個人で入会を希望し、本法人が認めた者
(3)賛助会員　本法人の目的に賛同して、本法人の事業を援助する個人または法人

2. 会員の特典
(1)正 会 員　本法人が正会員のために行う研究会、総会、公開講座など各種の会合に出席することができます。また、本法人の発行する印刷物の配布を受けることができます。
(2)個人会員　公開講座に出席することができ、月例研究会には有料で出席することができます。また、機関誌等の配布を受けることができます。
(3)賛助会員　本法人が主催する研究会、公開講座に出席することができます。また、本法人の発行する印刷物の配布を受けることができます。さらに、本法人のホームページ、機関誌等で賛助会員企業として紹介します。

3. 会費
(1)正 会 員	入会金	30,000円	年会費	60,000円
(2)個人会員	入会金	5,000円	年会費	18,000円
(3)賛助会員	入会金	なし	個人	1口 5,000円(1口以上)
			法人	1口50,000円(1口以上)

- 期の途中で入会を希望される場合の年会費はご相談に応じます。
- 同一団体で、2人目以降が追加で入会する場合は、入会金を免除します。
- 正会員が退職などでその資格を失った場合、本会に届け出ることによって、その企業の後任の女性が特典を引き継ぐことができます。
- 納入された会費は、お返しできません。

4. 申し込み方法
「日本ヒーブ協議会」宛にご連絡ください。入会にあたっては、所定用紙に必要事項をご記入いただき、入会審査をさせていただきます。審査後、入会金と会費を納入していただきます。

発行元：一般社団法人 日本ヒーブ協議会
2020年4月発行

〒151-0053　東京都渋谷区代々木2丁目30番4号　C−002
TEL：03-6869-0428　開局時間：平日 13:00〜17:00
E-mail：heib-jimukyoku@heib.gr.jp
ホームページアドレス：http://www.heib.gr.jp/
Facebook：https://www.facebook.com/heib.gr.jp/